

検討の観点と内容の特色

『明解 国語総合 改訂版』

発行者番号・略称	教科書の記号・番号
15 三省堂	国総 339

A5判 360ページ 編集代表：中渕正堯・三浦和尚

< 1. 内容 >

- ①全体をとおして、総合的な国語の基礎学力を確実に定着させるのに適切な内容である。
- ②各教材の「学びの道しるべ」が、段階的に丁寧に設定され、学習内容の着実な定着が実現できる。
- ③「現代文・表現編」では、定評あるオーソドックスな教材と新しい教材とをバランスよく採録している。
- ④「現代文・表現編」の教材には、生徒の関心を引く話題や主体的に考えられる話題が取り上げられており、生徒が意欲をもって学習に取り組めるようになっている。
- ⑤「現代文・表現編」の表現教材は、表現力を育てる教材と実用的な活動を取り入れた教材とがバランスよく配置され、生徒のコミュニケーション能力を高めることが期待できる。
- ⑥「現代文・表現編」の表現教材は、「新聞を持ち寄って編集しよう まわし読み新聞」など、アクティブラーニングにとりくみやすい教材が豊富である。
- ⑦「古典編」には、丁寧な導入教材とともにオーソドックスな教材が採録されており、また、文法・句法についても適切にまとめられているので、基礎的・基本的な事項を確実に学習できるようになっている。
- ⑧「古典編」の冒頭に、中学校までの既習教材で構成した「古典の響き」が置かれ、音読をとおして日本語の響きやリズムを感じ取ることで、高等学校の古典学習へ無理なく接続できるようになっている。
- ⑨「現代文・表現編」「古典編」とも、文章を読み比べて表現の仕方を考えたり、図版やグラフなど非連続テキストを読み取ったりする学習活動が設定されており、PISA型読解力の育成にも資する内容となっている。(例：p.60「魚は陸から離れられない」 p.74「海ガメの無念」 p.76「情報の読み方・扱い方」 p.252「平家物語」)
- ⑩「ブックガイド」は、教材に関連した高校生にも読みやすい書籍が紹介されており、興味を持って読書活動が広げられるよう配慮されており、読書指導にも有益である。
- ⑪「資料編」には、さまざまな学習活動で活用できる資料が豊富に掲載されており、生徒の教材理解・言語活動を支えるものとなっている。

< 2. 構成・分量 >

- ①ジャンル別の単元構成で、学校での指導の実態にあった構成となっている。
- ②「現代文・表現編」「古典編」とも、適度な長さの親しみやすい教材で構成されている。教材数も適切で無理なく学べるように配慮されている。
- ③現代文教材は、評論・小説・随想・詩歌がバランスよく収録・配置されている。また、中学校教科書の教材に近いかたちのもの(例：説明的文章に近い「魚は陸から離れられない」など)が前半に配置され、中学校からの接続が無理なくできるよう配慮されている。
- ④表現教材は、読み教材との関連だけでなく、はじめに自己紹介のスピーチを置くなど、学校生活との関連にも配慮して配列されている。
- ⑤古文教材は、説話・仮名草子・随筆・物語・和歌・軍記が適度な分量でバランスよく収録・配置されている。また、通釈や傍訳が中学校からの接続に配慮した形で適切に示されている。

る。

- ⑥漢文教材は、故事成語・漢詩・思想・史話が適度な分量でバランスよく収録・配置されている。また、書き下し文や通釈が中学校からの接続に配慮した形で適切に示されている。
- ⑦「古典編」は、単元ごとに作品の背景や文法事項についてのコラムが設けられており、それぞれ関連させながら学習を進められるようになっている。

< 3. 表記・表現、及び指導上の工夫 >

- ①「常用漢字表」にない漢字・音訓、新たに「常用漢字表」に加わった漢字・音訓、及び高等学校で学習する音訓には見開き初出ごとに振り仮名が付けられている。また、中学校配当の漢字・音訓や、常用漢字であっても読み誤りやすいもの、固有名詞などにも教材初出で振り仮名が付されており、漢字の読み書きの定着や教材理解に資するよう配慮されている。
- ②脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の教材理解を助けるものとなっている。
- ③意味や用法に注意して身につけておきたい語句は、脚注欄に抜き出して見開きごとに整理してある。特に現代文教材では、意味調べや対義語・類義語調べ、短文作りなどの学習活動も指示されており、語彙を広げるのに有益なものとなっている。
- ④漢文教材では、基本句形を脚注の中でその都度解説しており、授業展開に役立つものとなっている。
- ⑤現代文教材では、身につけたい漢字を見開きごとに本文中から抜き出し、脚注に整理して示しており、漢字の定着を助けるものとなっている。
- ⑥学習の手引き「学びの道しるべ」は、学習のねらいを示した上で、段階的に読み進めるものとなっており、目標を持って学ぶことができ、授業展開に役立つものになっている。また、「学びを広げる」で、学習指導要領に示された言語活動やアクティブラーニングを的確に行えるように配慮されている。
- ⑦現代文教材の「学びの道しるべ」には、読解のヒントが示されており、生徒が読み方を自覚的に身につけられるよう配慮されている。また、本文中に出てくる語句・漢字についての課題がさまざまな形で収録されており、語句・漢字の指導に有益なものとなっている。
- ⑧現代文教材、古典教材ともに各教材の冒頭にリード文が示されており、教材文の内容に興味を持って入っていけるように工夫されている。
- ⑨古典教材では各教材冒頭に作品の成立年代を示す図版が表示されており、成立年代が視覚的につかめるように工夫されている。
- ⑩表現教材は、活動の手順が具体的かつ簡潔に示され、さらに活動をイメージさせるイラストや生徒作品例も挿入されており、生徒にも活動内容が理解しやすく、授業で扱いやすくなっている。
- ⑪カラー写真・カラー図版が豊富で、視覚的な学習効果を高めるとともに、生徒の興味関心を喚起するものとなっている。

< 4. 印刷・造本上の配慮 >

- ①活字・写真・図版は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。
- ②図の色づかいなどは色覚特性に配慮したものとなっており、また、用紙が落ち着いた色あいでも光の反射も抑えられているため、読みやすい紙面となっている。
- ③製本は堅牢である。
- ④環境にやさしい用紙と植物油インキが用いられており、地球環境や資源への影響も考慮されている。